

第3回拡大安全対策委員会 第2回拡大業務部長会議

グループを含めた安全体制の確立を!

中央本部は、6月4日(火)、西阪ビル地下会議室に於いて、定期中央本部大会に向け、グループ労組を含めた「第3回拡大安全対策委員会」及び「第2回拡大業務部長会議」を開催し、各地方本部・本社総支部、関係部会、グループ労組の担当者らが出席のもと、それぞれ今年度の取り組みの経過報告と今後の取り組みを相互に確認し合った。



第3回 拡大安全対策 委員会

委員会にはJR西日本連合の鉄道系のグループ労組(主にアーバン、西日本テクシア、西日本電気テック、西日本メンテック、西日本メンビルト、大鉄工業、広成建設の各労組)も出席し、今年度発生した労災や事故の情報を再度共有し、今年度の職場の安全確立を行った。参加者は熱心に聞き入った。

とりわけ、2018年度には4件もの死亡・労災事故が発生し、2019年度に入つてからも、一歩間違えば重大事故につながりかねないような線閉区間誤り、入換車両の脱線・待避不良など、危険な事象が相次いでいることなど、情報の共有が行われ、問題意識を高め、職場からの取り組みを強化していくことが確認された。

具体的には、アサーション浸透の取り組みとして、確認会話の励行や連絡の徹底に向けて、「確認ですか」を合言葉に西日本グループ全体に浸透させていく方針が確認された。

さらに、JR西日本連合・JR西労組「安全提

にむけた取り組みについて経過を報告した。

とりわけ、2018年度には4件もの死亡・労災事故が発生し、2019年度に入つてからも、一歩間違えば重大事故につながりかねないような線閉区間誤り、入換車両の脱線・待避不良など、危険な事象が相次いでいることなど、情報の共有が行われ、問題意識を高め、職場からの取り組みを強化していくことが確認された。

具体的には、アサーション浸透の取り組みとして、確認会話の励行や連絡の徹底に向けて、「確認ですか」を合言葉に西日本グループ全体に浸透させていく方針が確認された。

さらに、JR西日本連合・JR西労組「安全提

にむけた取り組みについて経過を報告した。

とりわけ、2018年度には4件もの死亡・労災事故が発生し、2019年度に入つてからも、一歩間違えば重大事故につながりかねないような線閉区間誤り、入換車両の脱線・待避不良など、危険な事象が相次いでいることなど、情報の共有が行われ、問題意識を高め、職場からの取り組みを強化していくことが確認された。

具体的には、アサーション浸透の取り組みとして、確認会話の励行や連絡の徹底に向けて、「確認ですか」を合言葉に西日本グループ全体に浸透させていく方針が確認された。

さらに、JR西日本連合・JR西労組「安全提

要員が見合っていないとの認めた取り組みについて切実な声や、守れるルールを確認した。

「言」の改訂を行い、グループ会社を含めた実効性のある安全の取り組みとするために議論を深めることが確認された。出席者からは、工事量にR関係労働者の死亡・労災事故・労災ゼロの達成にむけた取り組みについて経過が報告された。

その後、当面する業務課題の取り組みとして、総合労働協約改訂交渉や、北陸新幹線に関する業務課題、医療部門・バス部門への対応などについて、方針を確認し合った。

また、2019春闘など、今認し合った。同日開催された「第2回拡大業務部長会議」では、2018年度労働協約改訂交渉や、北陸新幹線に関する業務課題の取り組みとして、総合労働協約改訂交渉や、北陸新幹線に関する業務課題、医療部門・バス部門への対応などについて、方針を確認し合った。

その後、当面する業務課題の取り組みとして、総合労働協約改訂交渉や、北陸新幹線に関する業務課題の取り組みとして、総合労働協約改訂交渉や、北陸新幹線に関する業務課題、医療部門・バス部門への対応などについて、方針を確認し合った。

激変する社会情勢に対応しえる 総合交通政策の確立について熱く討議

第25回 交通運輸政策研究集会

第25回 交通運輸政策研究集会

第25回 交通運輸政策研究集会</h